

落とし穴にご注意を

ねらい コミュニケーション、課題解決

時間 30分

場所 どこでも

人数 何人でも

季節 いつでも

用具 障害物いろいろ（椅子をランダムに置く、ロープを柱と柱に結び付けたなど）

手順

- 1 室内に様々な障害物（椅子や小道具、ロープなど）をランダムに置いておきます。
- 2 全体を2グループ（それぞれ5人ほど：A目隠しチーム、B指示チーム）に分けます。人数が多いときは、3グループ（それぞれ5人ほど：A目隠しチーム、B指示チーム、C観察チーム）に分けることも出来ます。
- 3 A目隠しチームは、バンダナで目隠しをして、障害物に当たらないように、ゴール地点（部屋の隅にゴールを設定していた）へ進みます。B指示チームは、目隠しをしたメンバーが障害物に当たらずゴール地点へ進めるように言葉だけで指示を与えます。C観察チームは一切言葉を発しないまま、A目隠しチームとB指示チームの間に何が起きているかというプロセスを観察します。
- 4 目隠しをしたメンバー全員がゴールできたら、全員でふりかえりをします。それぞれの立場で気づいたことをわかちあいます。それぞれの立場でグループを観察することで、グループが課題を解決する際に起こる様々なことが体験的に理解できます。

ポイント

人数が少ない場合は、観察チーム（C）を作らないまま実施しても成り立ちます。2人組みでの課題解決（グループワーク）としても使えます。

